

つながい・学び・一人ひとりが主役 青年フェスタ初のオンライン開催



たかつガーデンの実行委員の様子
実行委員もソーシャルディスタンス

午前のレポート発表は、青年教員によるクラスづくりや授業の実践を発表し、その後ブレイクアウトルームで交流会を行いました。午後は、すぐに活用できる実技各分会に分かれ前半後半1時間ずつ行いました。講師の経験を踏まえた講話は参加した青年の意識を高め、今後の指導に生かせる内容となり大好評でした。家からでも気軽に取り組むことのできるオンライン開催は、緊急事態宣言の中でも充実したものとなりました。しかし一方で、やはり顔を合わせ話をすることの良さを改めて認識することができました。来年はいつも通りの青年フェスタができることを願っています。

2月13日、第32回青年フェスタが初めてオンラインで開催されました。全体会に集まった参加者は100人を超え、各分会も充実したものとなりました。

参加者の感想

レポート発表

「小学校」

作文の取り組みがとても魅力的でした。子どもたちが書いた作文を発表し、それに対してみんなで批評するところが、子どもの作文の力をつけていっているのを感じられました。作文が苦手な子が、最後には立派な長文を書き上げており、子どもの力つてすごいなと改めて思いました。

実技講座

「保護者とかかわり」

学校への要求の裏にどんな思いがあるのかを読み取るう、と考えながら話を聴く。コロナ禍で大変な思いをしている保護者をねぎらうこと、堰を切ったように話し出し、要求の背景にあるものがわかった。保護者を怖がることではない、子どものために協働していける、と思えるようになりました。

希望と合意の人事異動の実現を

泉北教組は、2月12日に忠岡町教委と人事異動に関する交渉を行いました。また、次のような「確認」を取りました。

- 忠岡町教委人事交渉のまとめ(2021.02.12)
- 教職員人事については、忠岡町人事基本方針に基づき行う。
本人の希望については、一定考慮していく。
 - 「異動対象者」は、新任4年～6年、その他は7年～10年を基本にしている。
 - 調書は4年、7年から配布。6年、10年に満たない者で提出のない場合は希望なしとみなす。
 - 欠員補充については、大変厳しい状況だが、引き続き定数配置に向け努力する。
 - 「異動対象者」適応除外については、以下の通りと認識している。
 - ・生後1年未満の子女を育児中のもの。
 - ・休職中及び長期病欠中のもの。
 - ・妊娠中及び、産休中のもの及び高齢者のもの。
 尚、高齢者については、今年度末で年齢が58歳以上のものである。
 - 再任用者の人事異動については、本人の合意に基づいて行うよう努力する。
 - 2019年8月の人事の変更に伴う泉北教組との確認事項に変更はない。
 - 内示日は例年どおり3月下旬である。
内示後の交渉については申し入れがあれば行う。

人事の変更についての確認事項(2019.8.27)

- 変更内容・・・小学校の人事異動に関して、町内2校に連続して勤務した者は次の異動先は他市町村とする。
 - 変更の目的は、資質向上を図るための人事の活性化である。
 - 今回の変更は「原則として」である。例外は、校種替え、任用替え等を想定している。
 - 変更後の職場の活性化の状況などを検証していく。
 - 忠岡町で働きたい教職員が、他市町村を経験後戻って来やすいような手立ては、今後研究していく。
 - 今後とも、泉北教組と協議していく。

「不登校の子への関わり」
子どもたちが再登校してきたときの支援が印象的でした。別室登校の状態のときに、別室をうんと居心地よくしてやることで安心感が育つと、ク

ラスやほかの活動にも参加しようとする力が蓄えられていくと聞き、なるほどと思いました。今別室登校している子たちに、もっと丁寧に関わらないと...と思いました。

